



冬の若桜町での生活



降雪量は少なくなったとはいえ、毎年雪は必ず降り、夜は気温も氷点下まで下がります。
冬の道路は融雪装置や雪が溶け、濡れているのが当たり前。
日常的に防水ブーツを履きましょう。



雪が降る前の準備：雪かきには道具が必要です。

スコップ（1本以上あるのが望ましい、車用など）・
スノーダンプ（雪を運ぶそりのようなもの※右記）・
防水服・防水手袋・長靴・車のスノーブラシ(※右記)など。



◎宿内は水路に雪を捨てていい時間が決まっています。

ご自身の自治体でも決まりやルールを確認しておきましょう。

◎車は雪が降る前にスタッドレスタイヤに履き替えましょう。

11月下旬頃から変えておくと安心です。遅くとも12月中には履き替えましょう。

同時に車のサビ止め塗装をしておくと塩害によるサビつきが軽減できます。

（若桜で生活すると車が塩害で早く劣化していくケースが多くなります）

車の中にもスコップやフロントガラス用のスノーブラシ、長靴などを入れておくと外出先でも安心です。雪が降る日・降る前日はワイパーを上げておきましょう。雪の重みで外れたり、凍結を防ぎます。

フロントガラスが凍ったら…水かぬるま湯をかけましょう。熱湯をかけるとひび割れの原因になるので危険です。

◎屋根の雪下ろしはめったにしない。

雪下ろしは危険も伴うため、移住センターに相談して下さい。

◎大雪などの影響で停電になることがあります。

自宅の防寒器具が電化製品ばかりだと対応できません。

万が一のために電気不要の石油ストーブなど用意しておきましょう。





氷点下：水道が凍ります

冬の期間は日中も氷点下になることがあります。
夜の気温が -3°C 以下になると水道が凍る可能性があり、水道管が破裂すると修理が必要になります。

◎事前に水を出しておく。

蛇口の「温水」で少しだけ出しておくことが大切です。

(ボイラーを「入」にしておくとより安心です)

夜は凍りやすい台所・洗面所・お風呂・トイレなどを出して就寝します。

(日中も長時間家を離れる場合は出しておいた方が安心です)

もったいないと思わずきちんと出しておきましょう。(ポツンポツンではなく
チョロチョロくらい)。

凍ると配管やボイラーの修理が必要となります。

トイレの水も流れるようにすることが可能です。



◎凍ってしまったら…

ボイラーを点けてお湯を出しておきましょう。

温水がゆっくり氷を溶かしてくれます。(長時間かかることがあります)

水道管を直接温める場合はタオルなどを巻いて必ずぬるま湯で行ってください。

熱湯を注ぐなど、急激に温めるやり方はしないで下さい。

水道管の破裂やボイラー交換が故障した場合は速やかに業者さんへ連絡しましょう。

水道管トラブルなどでお困りの際は、移住センターへ相談して下さい。

冬は特に天気予報で「雪と気温」をチェックして事前にトラブルを回避・小さくできるように努めましょう。

困ったときは、とりあえず相談OK!!

移住定住・交流センター 【0858-71-0800】



作成日 令和3年1月14日